

2016/01/10 の定期メンテナンスにおける kintone API更新情報 Part2

2016年1月10日の定期メンテナンスの、kintone APIの更新に関する情報をお知らせします。

本アップデートは2015年12月13日に予定しておりましたが、[「kintone on cybozu.com」](http://kintone.on.cybozu.com)のリリースが延期となった影響で、2016年1月10日のアップデート後での更新に変更されています。

kintone REST API

変更される仕様

- REST APIのURLの拡張子は小文字だけしか対応しなくなります。
例として、12月のアップデート後はGETで `/k/v1/apps.JSON` を呼ぶと、404エラーが返るようになります（現状では200が返ります）。
エラーが返らないようにするためには小文字で `/k/v1/apps.json` を呼ぶように変更をお願いします。
- ユーザーの言語設定が「ブラウザに従う」になっている場合に、Accept-Languageヘッダーがないとき、出力するメッセージ（APIのエラーなど）はcybozu.com共通管理の「ローカライズの設定」の「言語」に設定されている言語になります。
アップデート前は、出力するメッセージは日本語のみです。
※12月のアップデートで、cybozu.com共通管理に「ローカライズの設定」の「言語」を設定(ja,en,zh)する機能が追加されます。
※日本国内のお客様は原則デフォルトで「ローカライズの設定」の「言語」が「ja」になります

- [日時のフォーマット](#)の仕様が変更されます。

アップデート前

フィ
ール
ドタ
イプ

フォーマット

説明

日時 取得時 YYYY-MM-DDTHH:MM:SSZ

- 「YYYY-MM-DD」と「HH:MM:SS」の間の「T」は固定値です。
- 「HH:MM:SS」の後ろの「Z」は固定値です。

登録・更新時 YYYY-MM-DDTHH:MM:SS±HH:MM
または YYYY-MM-DDTHH:MM:SSZ

- 取得時の「Z」はUTCを表します。一覧の取得APIでは日時はUTCで出力されません。
- 日本時間（JST）の2012年3月22日14時00分は次のように表せます。
例) 「2012-03-22T05:00:00Z」
- 「YYYY-MM-DD」と「HH:MM:SS」の間の「T」は固定値です。
- 「HH:MM:SS」の後ろの「Z」は固定値です。
- 登録・更新時の「±HH:MM」には、UTCとの時刻の差を指定します。
- 日本時間（JST）の2012年3月22日14時17分は次のように表せます。
 - 例1) 「2012-03-22T14:17:00+09:00」
 - 例2) 「2012-03-22T05:17:00Z」

アップデート後

フィールドタイプ

フォーマット

説明

日時

取得時 YYYY-MM-DDTHH:MM:SSZ

- 「YYYY-MM-DD」と「HH:MM:SS」の間の「T」は固定値です。
- 「HH:MM:SS」の後ろの「Z」は固定値です。
- 取得時の「Z」はUTCを表します。一覧の取得APIでは日時はUTCで出力されません。
- 日本時間（JST）の2012年3月22日14時00分は次のように表せます。
例) 「2012-03-22T05:00:00Z」
- 「T」以降を省略した場合、UTCとして扱われます。

登録・更新時 YYYY-MM-DDTHH:MM:SS±HH:MM
または YYYY-MM-DDTHH:MM:SSZ

- 「YYYY-MM-DD」と「HH:MM:SS」の間の「T」は固定値です。
- 「HH:MM:SS」の後ろの「Z」は固定値です。
- 登録・更新時の「±HH:MM」には、UTCとの時刻の差を指定します。
- 日本時間（JST）の2012年3月22日14時17分は次のように表せます。

- 例1) 「2012-03-22T14:17:00+09:00」
- 例2) 「2012-03-22T05:17:00Z」
- 「T」以降を省略した場合、UTCとして扱われます。

修正される不具合

- URL上にappパラメータを付加し、ボディにもappを指定している場合、URL上のパラメータが優先される。

改修後は、ボディのappが優先されます。

具体的な例として、[レコードの登録API](#)でURLパラメータに **app=1** を指定し、ボディに下記の内容を指定したとします。

```
{
  "app": 2,
  "record": {
    "hoge": {"value": 123}
  }
}
```

12月のアップデート前は、**app=1** に **hoge=123** のレコードが登録されますが、アップデート後はボディの情報が優先され、**app=2** に **hoge=123** のレコードが登録されます。

- 「次のキーワードを含む/含まない」を設定した関連レコード一覧(「さらに絞り込む条件」で文字列系のフィールドを指定すると選択出来るドロップダウン)があると[レコードの取得API](#)で不正なリクエストが発生する。
改修後は正常にレコードが取得出来るようになります。
- [レコードのアクセス権の取得API](#)を使用した際に、取得した値の順番がレコードのアクセス権の画面で設定した「ユーザー/組織/グループ」の順番と異なる。
改修後はレコードのアクセス権の画面に表示されている順番と同じになります。
- 2012年10月以前に作成し、フォームの設定を一度も更新していないアプリに対して[フィールドの一覧取得API](#)を実行すると不正なリクエストになる。
改修後はエラーが発生せず、フィールドの一覧を取得できる。
- [ゲストユーザーの一括追加API](#)でパスワードに64文字を超える長さの文字列が設定できる。
改修後は64文字を超える長さのパスワードは設定できず「3文字以上、64文字以下である必要があります。」のエラーメッセージが返ってきます。
- 言語設定が「Webブラウザに従う」に設定されてる際、[テスト環境にアプリを作成するAPI](#)でアプリを新規作成すると組み込みフィールド(レコード番号、作成者、更新者、作成日時、更新日時)の名前とフィールドコードが日本語になる。
改修後は言語設定が「Webブラウザに従う」に設定されてる際、APIでアプリを新規作成すると組み込みフィールドの名前とフィールドコードがリージョンに対応し

た言語になります。

修正されるエラーメッセージ

- REST APIのクエリに関連レコード一覧以外のフィールドで関連レコード一覧記法を使ったときのエラー内容が変更されます
 - 改修前：指定されたフィールド<フィールド名>が見つかりません。
 - 改修後：クエリの指定が不正です。関連レコード一覧でないフィールド<フィールド名>では関連レコード一覧記法を利用できません。フィールド<フィールド名>に指定したクエリが正しくありません。指定したクエリは、関連レコード一覧フィールドでのみ使用できます。
- レコードのアクセス権に設定したフィールドを[フォームの設定の変更API](#)で削除した際のエラー内容が変更されます
 - 改修前：条件が重複しています。
 - 改修後：フィールドを削除できません。削除しようとしているフィールドを条件にしたレコードのアクセス権が設定されています。
- レコード一括削除APIでidsを101件以上指定した際のエラー内容が変更されます
 - 改修前：不正なリクエストです。
 - 改修後：一度に1件から100件までのレコードを削除できます。
※257件以上のレコードを指定した場合、「不正なリクエストです」のエラーが返ってきます

kintone JavaScript API

修正されるエラーメッセージ

- 特定のイベントで閲覧権限のないフィールドを指定した際に表示されるエラー内容が変更されます
 - 改修前：(無し。コンソールにjsエラーが表示される。)
 - 改修後：event.record['xx'] が不正です。

対象となるイベントは下記の通りです

- [レコード編集画面の保存実行前イベント](#) (app.record.edit.submit)
- [レコード追加画面の保存実行前イベント](#) (app.record.create.submit)
- [レコード編集画面のフィールド値変更時イベント](#) (app.record.edit.change.<フィールドコード>)
- [レコード追加画面のフィールド値変更時イベント](#) (app.record.create.change.<フィールドコード>)
- [レコード編集画面が表示された時のイベント](#) (app.record.edit.show)
- [レコード追加画面が表示された時のイベント](#) (app.record.create.show)

User API

新規追加されるAPI

- [組織エクスポートAPI\(JSON\)](#)